

がん対策の推進に関する意見

日本臨床腫瘍学会 理事

国立がんセンター中央病院 13A病棟医長

大江裕一郎

日本臨床腫瘍学会からの意見

1. がん治療の専門医、特に腫瘍内科医、緩和ケア専門医、放射線治療専門医の育成
2. 臨床試験の推進
3. がん診療拠点病院の整備・充実

血液・腫瘍内科医の日米比較

日本		米国		比
人口	1.281億	人口	2.982億	43%
医師 (2004)	249,574	医師 (2004)	632,818	39%
日本内科学会認定医 (専門医)	55,278 (10,573)	内科医	186,868	30%
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	47	腫瘍内科医	10,016	0.5%
日本血液学会 認定血液専門医	2,119	血液内科医	6,122	35%

大学病院、がん専門病院、地域がん診療拠点病院 におけるがん専門医のアンケート調査

平成17年7月実施

厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
「効果的かつ効率的ながん専門医育成方法の研究」班
主任研究者 大江裕一郎

アンケート回収率

大学病院、全国がん(成人病)センター協議会加盟病院、
地域がん診療拠点病院262施設中157施設(59.9%)より回答

大学病院:127施設中54施設(42.5%)

全国がん(成人病)センター協議会加盟病院:30施設中26施設(86.6%)

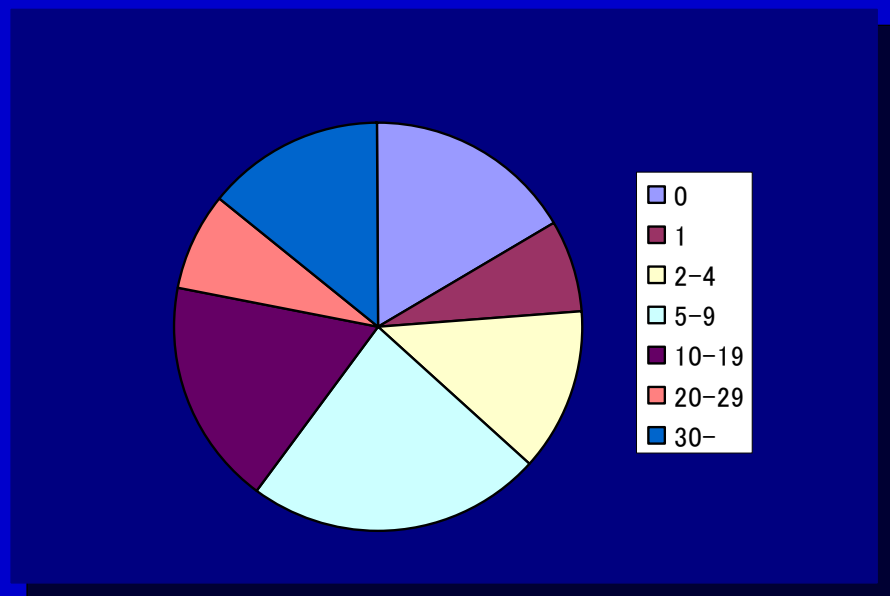
地域がん診療拠点病院(全がん協加盟病院を除く):105施設中77施設(73.3%)

3. 概ね診療の50%以上をがん化学療法などのがん患者の内科的治療に費やしている常勤内科医の人数(正確な人数が不明な場合には概数をご記入下さい)
 ただし、卒後2年以内の初期研修医、診断系の医師を除いてください。
 雇用形態にかかわらず貴院にて概ね週4日以上勤務している医師を常勤医として下さい。

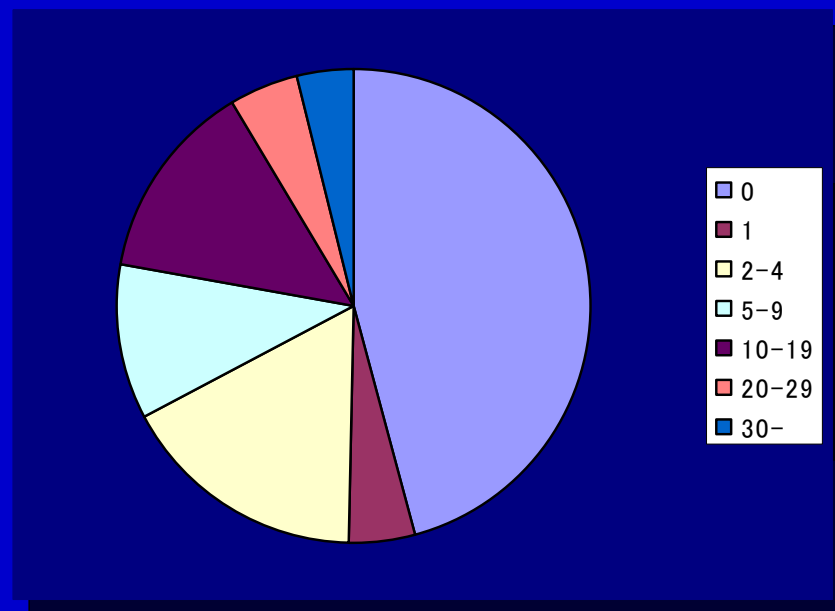
平均14.2人(0-127) 合計2203 名

上記のうち主にがん患者の診療のみを行っている医師の人数

平均5.7人(0-66) 合計876 名



概ね診療の50%以上をがん化学療法などのがん患者の内科的治療に費やしている常勤内科医



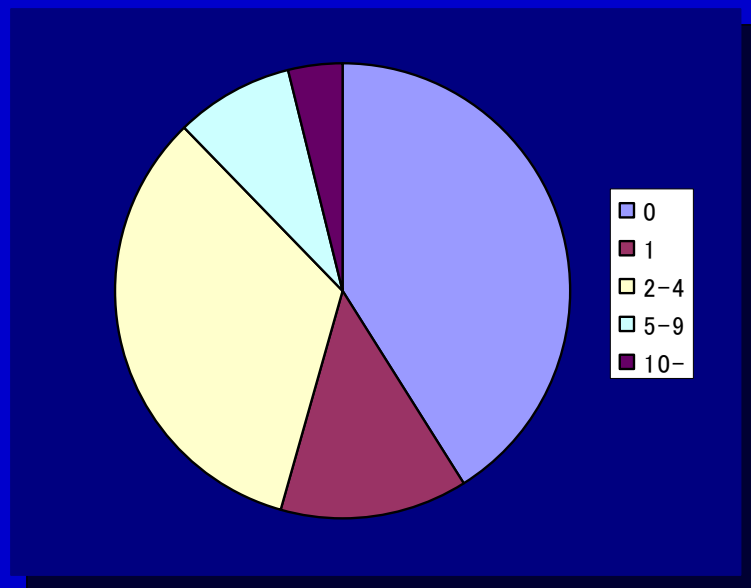
がん患者の診療のみを行っている常勤内科医

5. 主にがん患者の緩和ケアに従事している常勤医師の人数
 ただし、卒後2年以内の初期研修医を除いてください。
 雇用形態にかかわらず貴院にて概ね週4日以上勤務している医師を常勤医として下さい。

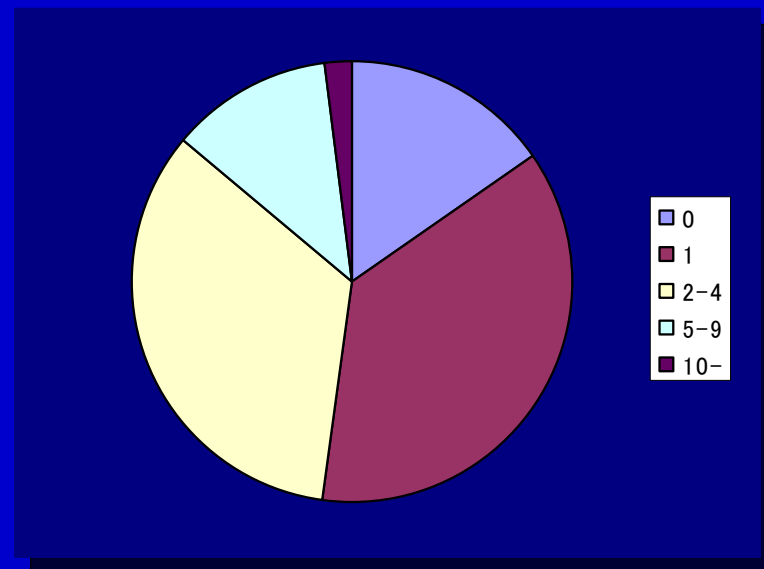
平均2.7名(0-100) 合計422名 名

7. 放射線治療専従の常勤医師の人数
 専門医資格の有無は問いませんが放射線治療を行っている放射線診断医、
 卒後2年以内の初期研修医は除いてください。
 雇用形態にかかわらず貴院にて概ね週4日以上勤務している医師を常勤医として下さい。

平均2.2人(0-11) 合計341名 名



緩和ケア専門医



放射線治療専門医

8. 肺癌・消化器がん・乳がんなどの化学療法を主に実施しているのは内科医・外科医のどちらですか？

主に内科医が実施している。	12 (8%)
主に外科医が実施している。	27 (17%)
内科医・外科医の双方が実施している。	112 (71%)
その他(_____)	6 (4%)

10. 将来的には肺癌・消化器がん・乳がんなどの化学療法を内科医・外科医のどちらが実施することが望ましいと考えますか？

内科医が実施する。	65 (41%)
外科医が実施する。	4 (3%)
手術症例は外科医が実施するが、その他は内科医が実施する。	39 (25%)
その他(_____)	49 (31%)

1年間に50人の手術と50人の抗がん剤治療をする医師100人
(現在の外科医の多く)

1年間に100人の
手術をする医師50人
(腫瘍外科専門医)

1年間に100人の
抗がん剤治療をする医師50人
(がん薬物療法専門医)

医師ひとりあたりの
手術件数が増える

医師ひとりあたりの抗がん剤
治療の件数が増える

手術が上手くなる

抗がん剤治療が上手くなる

治療成績・QOL
の向上

臓器別講座 vs 臓器横断の講座

腫瘍内科・臨床腫瘍学講座

呼吸器内科

肺炎
気管支喘息
肺結核
間質性肺炎
塵肺

消化器内科

胃潰瘍
食道カンジダ症
過敏性大腸炎
胆石・胆嚢炎
膵炎

整形外科

骨折
変形性関節症
関節炎
化膿性骨髄炎
関節リウマチ

産婦人科

分娩
不妊症
生理不順
子宮内膜症
子宮筋腫

肺癌
胸膜中皮腫
悪性胸腺腫

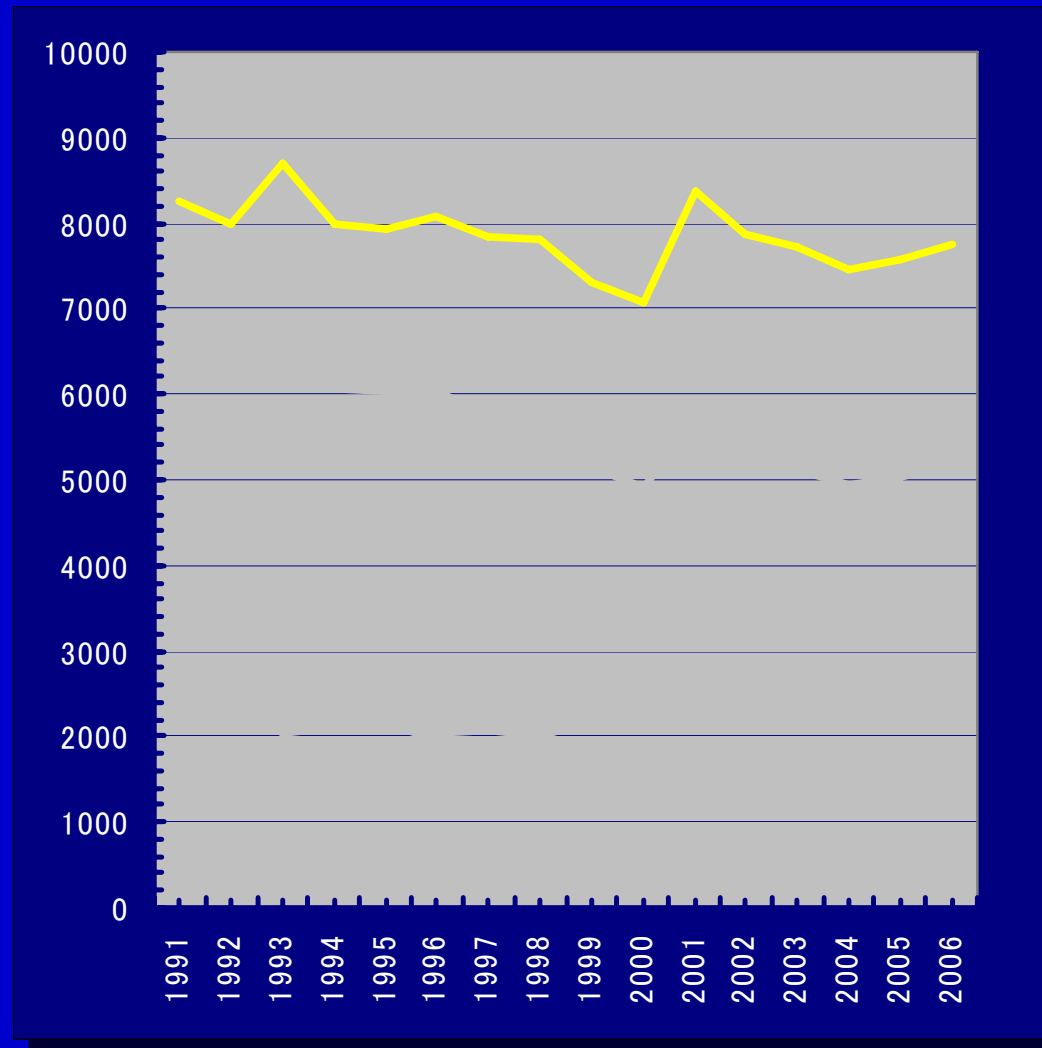
胃癌・食道癌
大腸癌
胆嚢癌・膵癌

骨腫瘍
軟部肉腫
転移性骨腫瘍

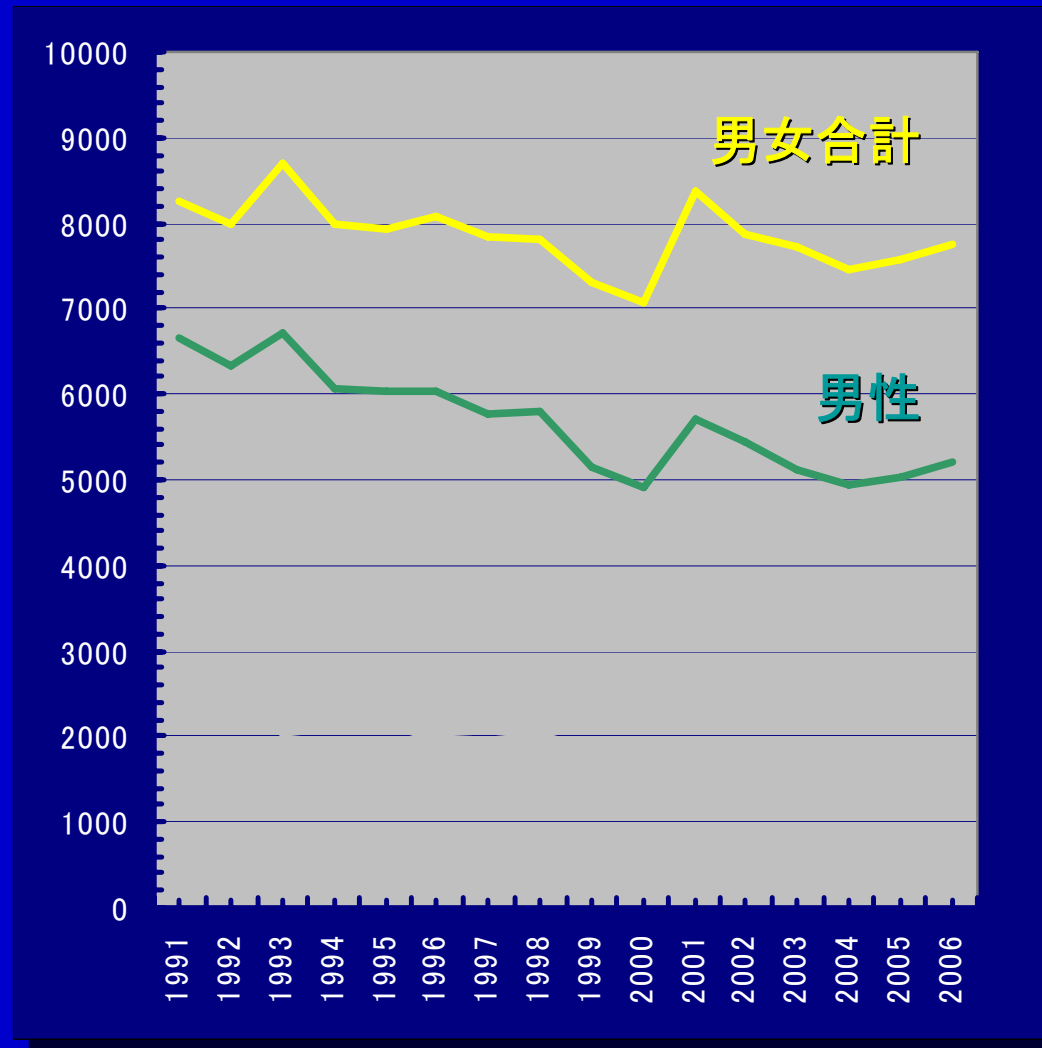
絨毛がん
卵巣癌
子宮癌

腫瘍内科・臨床腫瘍学講座

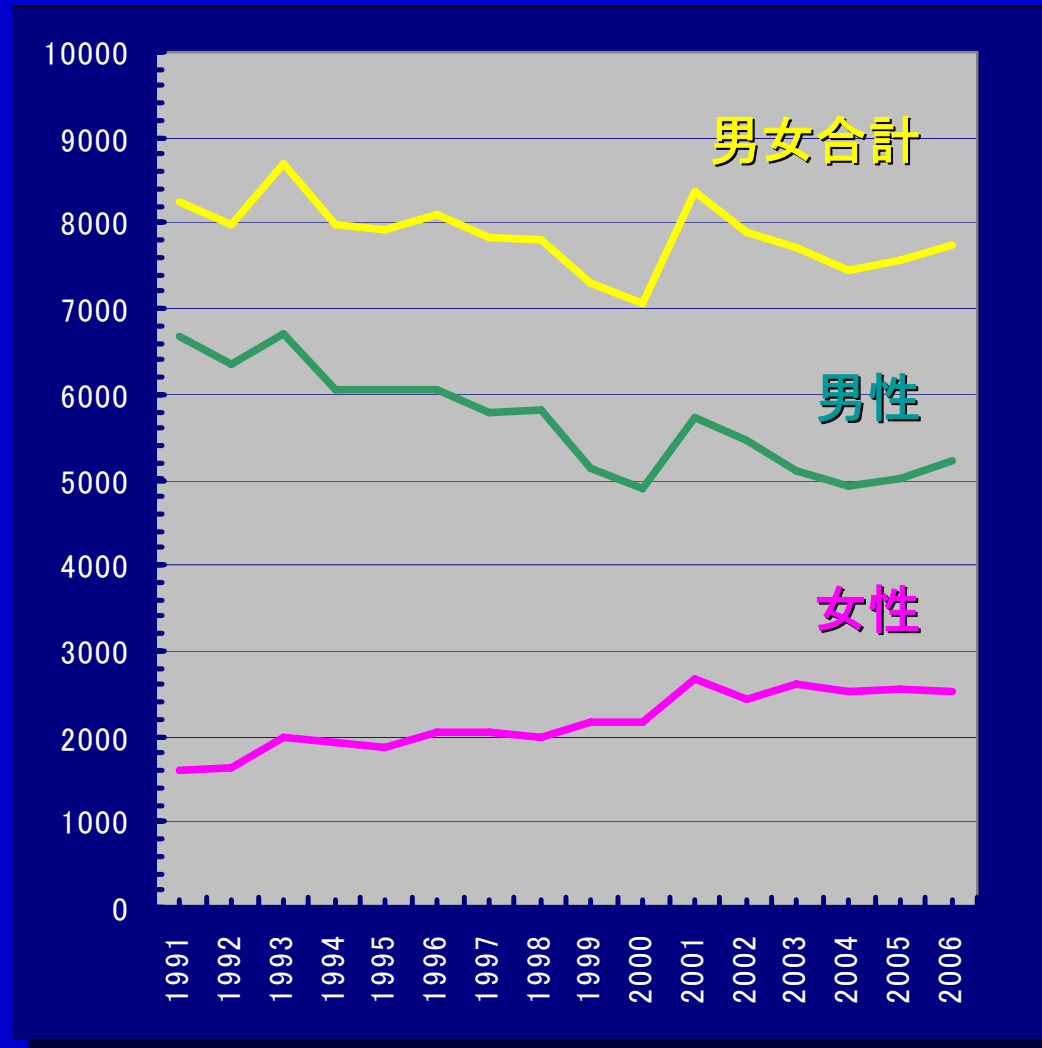
医師国家試験合格者数の推移



医師国家試験合格者数の推移



医師国家試験合格者数の推移



専門医育成の対策

- 中長期的対策:

- 全医学部・医科大学への腫瘍内科学・臨床腫瘍学講座の開設
 - 医学部定員の増員

- 短期的対策:

- レジデント制度の充実・待遇改善

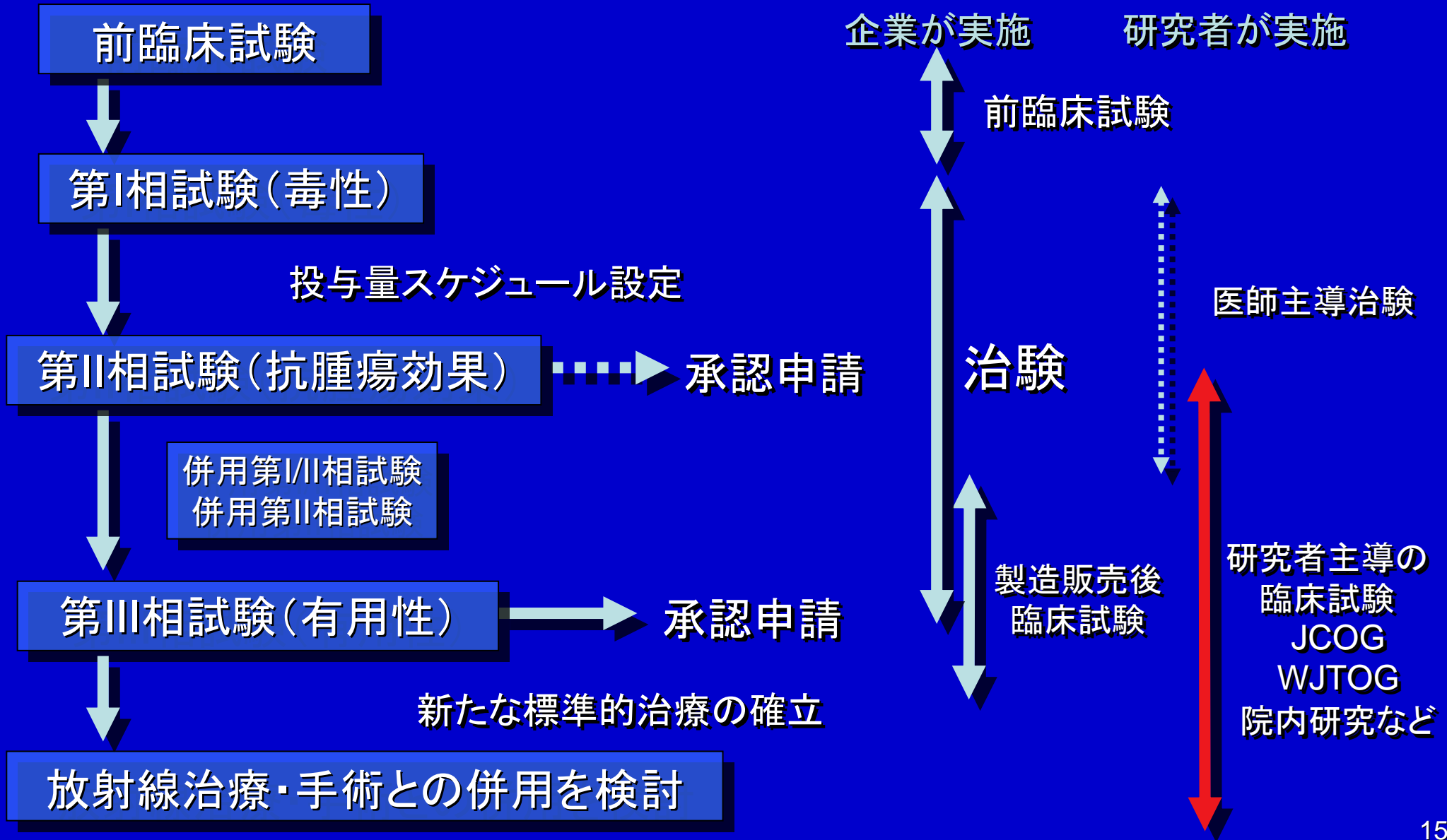
- コア・カリキュラムの改訂(腫瘍学の充実)

- 医師国家試験への臨床腫瘍学に関する出題数を増加

- 専門医制度・教育セミナーへの支援

精神腫瘍医、麻酔科医、病理医、細胞診医/技師、がん専門薬剤師、
がん専門看護師などの育成

新薬・新治療法の開発



臨床試験推進の対策

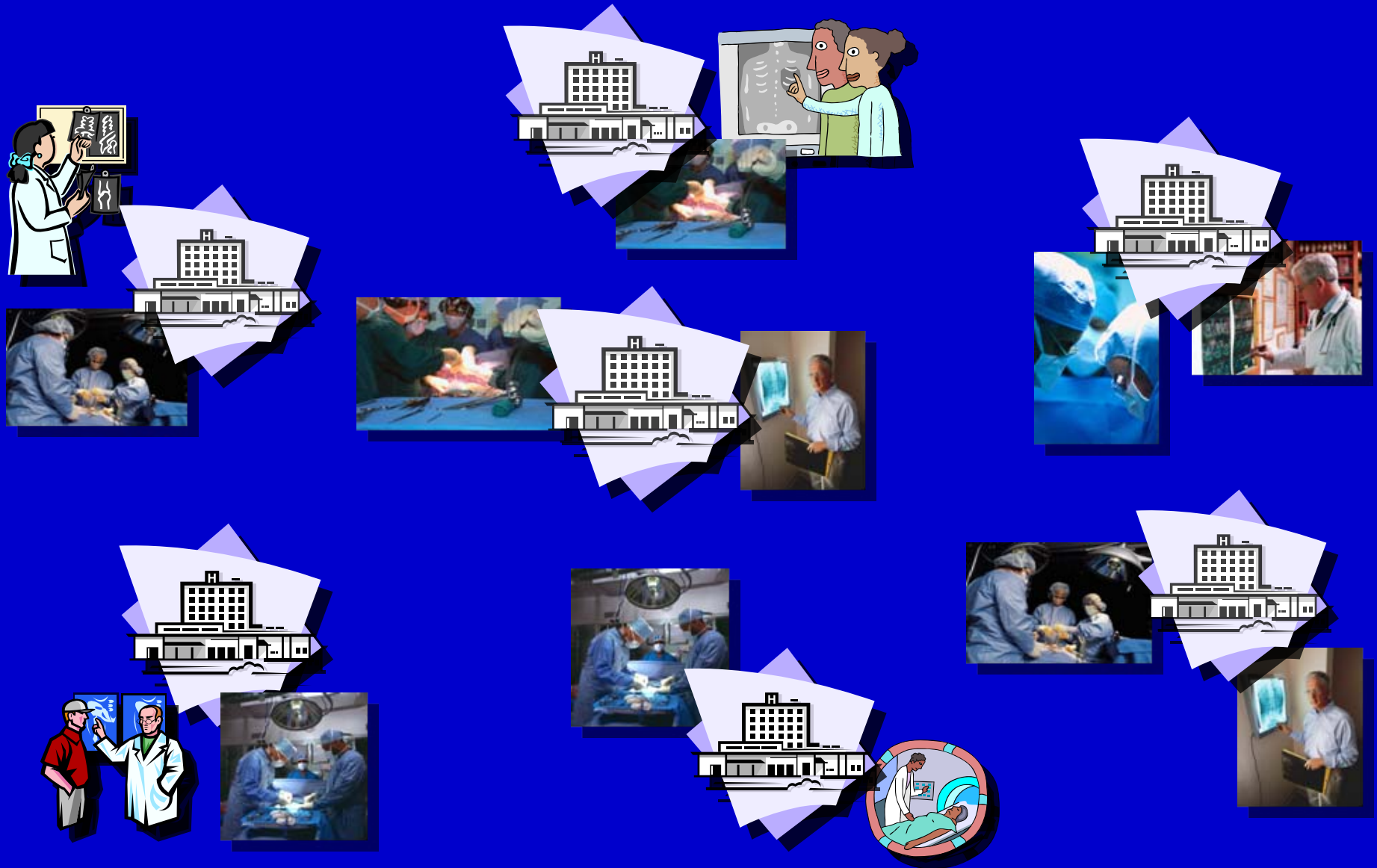
- 中長期的対策

 - 生物統計家の育成・拠点施設への配置
 - 治験コーディネータを国家資格へ

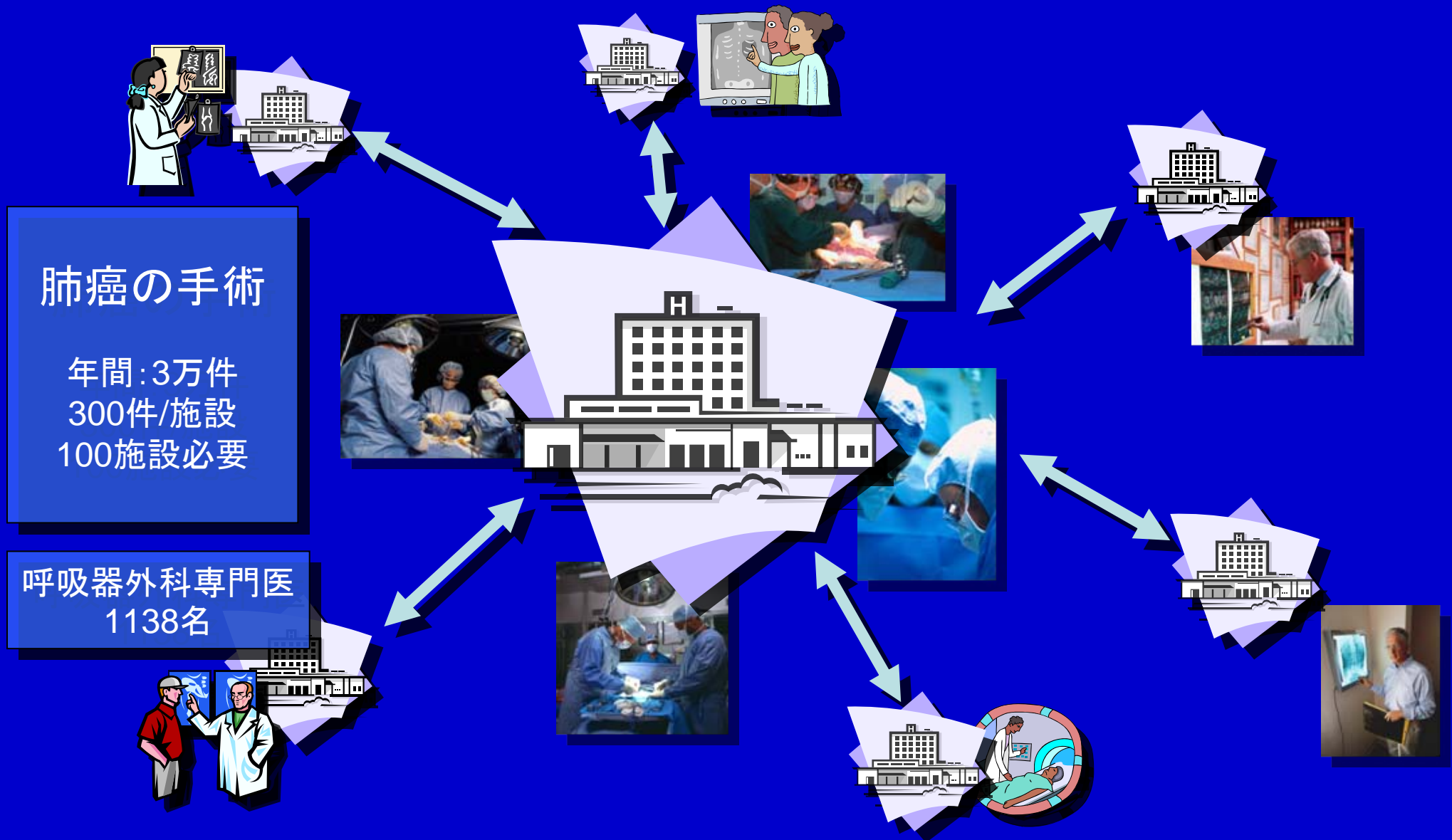
- 短期的対策

 - 治験コーディネータの増員・定員化
 - 治験(手続き、モニタリング、データ収集など)の簡素化
 - 研究者による臨床試験の推進
 - 研究費の有効利用・増額

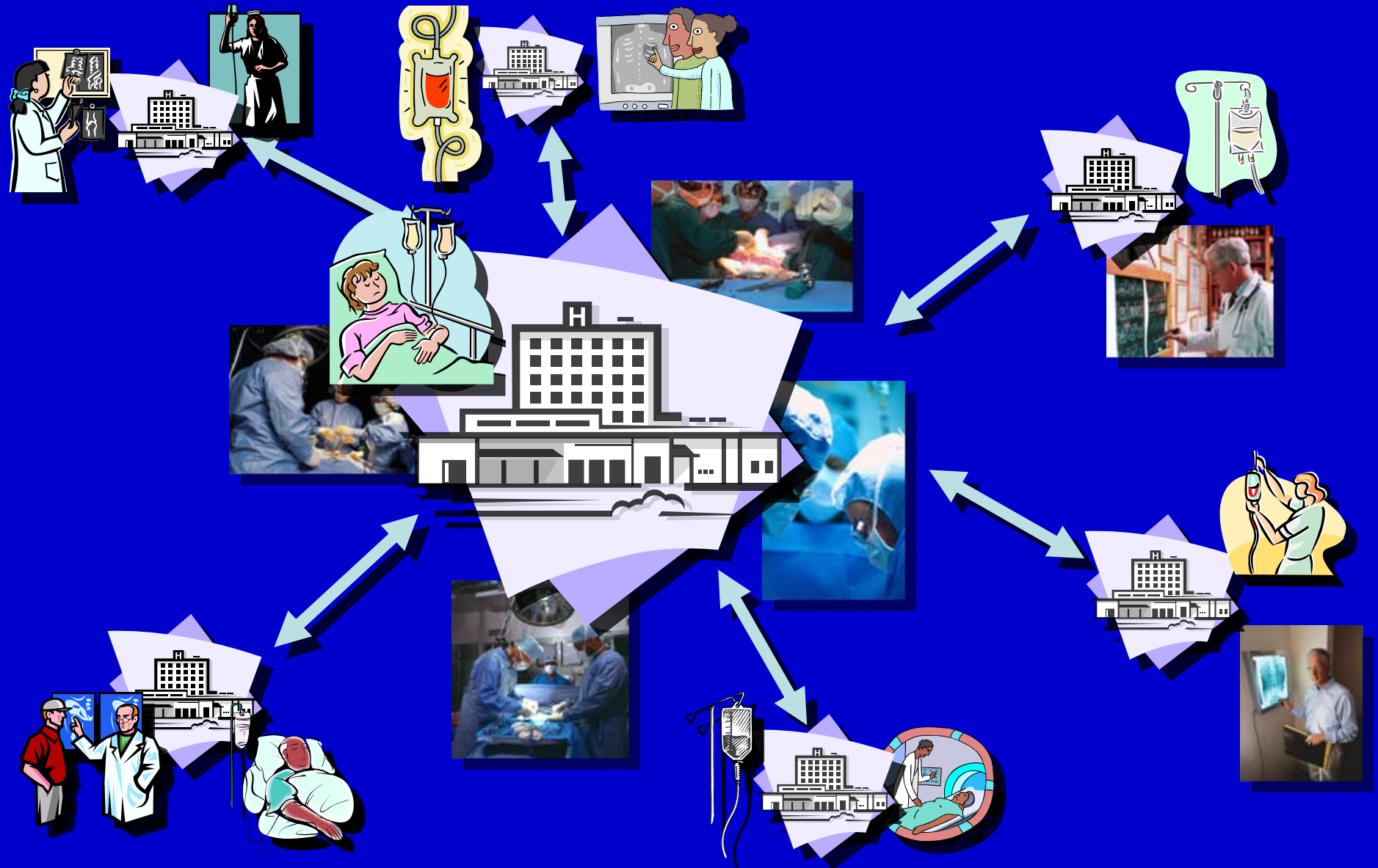
がん診療拠点病院の整備・充実



がん診療拠点病院の整備・充実



がん診療拠点病院の整備・充実



がん診療拠点病院の整備・充実

- がん診療拠点病院の計画的な集約・機能分担
- 人的・財政的支援
- 専門医による診療に対する診療報酬加算
- 禁煙対策としてタバコ税を増税し医療費に